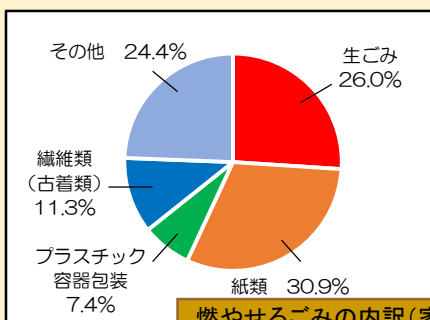


はじめよう 燃やせるごみ減量生活

函館市の燃やせるごみの現状は…

本市で排出されるごみの約75%を占める燃やせるごみは日乃出清掃工場で焼却され、残った焼却灰は七五郎沢廃棄物最終処分場で燃やせないごみなどとともに埋め立てられています。

ごみ全体の排出量は年々減少傾向にありますが、1人当たりの排出量は近年横ばいとなっています。また、1人当たりの排出量は全国・全道平均と比較すると多くなっています。

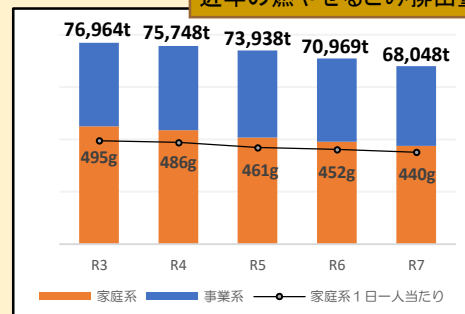


燃やせるごみの内訳(家庭系, 令和6年度)

家庭から出る燃やせるごみのうち、約26%は生ごみとなっているほか、紙類、プラスチック容器包装、古着の3種類で実に約50%を占めています。

これらの4種類のごみについては、日々の生活でちょっと気を付けたり、正しく分別することで、ごみを減らすことができるものです。

近年の燃やせるごみ排出量



なぜ減量が必要なの？

ごみを焼却した灰を埋め立てる処分場のスペースには限りがあるよ。

ごみが減ればごみ処理に係る費用も減らすことができるね。

近年話題の海洋プラスチックごみ問題も、原因となっているプラスチックごみそのものの発生を減らせば、問題解決につながるはず。



ごみの焼却を減らせば温室効果ガスの削減につながり、地球温暖化や気候変動の防止に役立つよ。



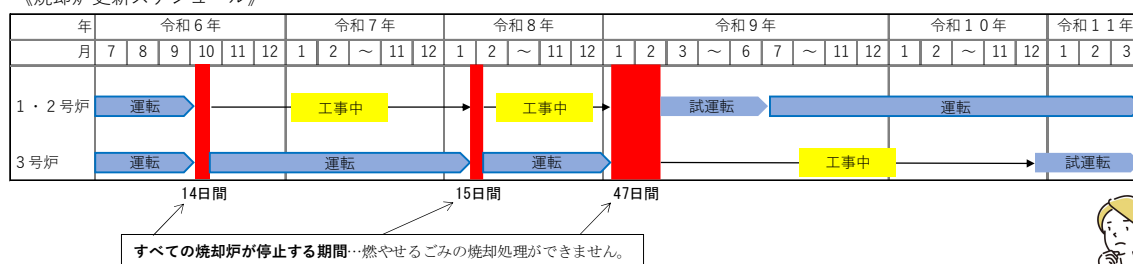
「ごみ」も元々は天然の資源から作られたもの。天然資源には限りがあり、無駄遣いは資源の不足や、環境の破壊などにつながることも。

日本は多くの資源を海外から輸入しているから、できる限り国内で資源を循環させることも大切じゃないかな。

日乃出清掃工場の工事により焼却処理できない期間が発生します！

函館市では令和6年度以降、日乃出清掃工場の焼却炉更新工事により一時的に燃やせるごみの焼却処理ができない期間があるため、より一層のごみの減量やリサイクルへのご協力をお願いします。

《焼却炉更新スケジュール》



ごみの焼却ができない期間があるから、燃やせるごみの減量は特に重要になってくるね！

